

令和6年能登半島地震における石川県への 水道管路応急復旧隊の派遣について

日本水道協会からの要請に基づき、令和6年4月3日から4月16日まで水道部8名及び青森市管工事業協同組合10名を派遣し、石川県珠洲市で水道管路応急復旧活動を実施したが、その概要は以下のとおりである。

1 要請概要

令和6年能登半島地震により石川県内の各地で断水等の被害が継続している中であって、令和6年3月12日付で日本水道協会東北地方支部長（仙台市長）から、「日本水道協会東北地方支部災害時相互応援に関する協定」に基づき、日本水道協会青森県支部長（青森市長）に対し、岩手県支部から活動を引継いで、4月5日から4月30日まで水道管路応急復旧活動を行うよう要請があったもの。

本市においては、県内各水道事業者及び青森市管工事業協同組合と調整を行った結果、第一陣として、本市及び青森市管工事業協同組合を4月3日から4月16日まで2班の交代制で派遣した後、第二陣として八戸圏域水道企業団及び八戸市管工事業協同組合を4月13日から5月2日まで派遣することとした。

なお、青森市管工事業協同組合からは、「災害時等における応急活動の協力に関する協定」に基づく協議及び調整の結果、対応可能な大管工業㈱と赤平設備工業㈱が応急復旧に当たることとした。

2 青森市の対応

上記に基づき、速やかに水道部8名及び青森市管工事業協同組合10名による9名×2班体制を整え、第1班は、4月3日の早朝に石川県珠洲市に向けて出発し、4月4日に現地で盛岡市からの引継ぎを受けた後、珠洲市正院地区において、既設配管の漏水調査等を実施しながら、漏水箇所に係る配管修繕及び洗管作業による水道管路応急復旧活動を行い、4月9日までに配水池から仮設住宅までの約1,300mの水道管路を復旧し、11日に青森市に帰着した。

また、第2班は、4月8日の早朝に出発し、4月9日に第1班からの引継ぎを受けた後、引き続き同地区において、既設配管の漏水調査や漏水箇所に係る配管修繕に加え、仮設水管橋の設置など、4月14日までに約800mの水道管路の復旧作業を行った後、同日、八戸圏域水道企業団に引継ぎを行った上で、16日に青森市に帰着した。

<活動の状況>

第1班

	総括責任者	現場監督員		漏水調査員	
活動期間	上水道整備課	施設課		施設課	上水道整備課
4/3	高橋 知人	清野 健一		根上 拓也	高谷 弘輝
～	現場責任者	配管工		トラック運転手	作業車運転手
4/11	大管工業㈱	大管工業㈱	大管工業㈱	大管工業㈱	大管工業㈱
	船橋 卓実	五百蔵 茂夫	工藤 卓	中村 隆聖	村田 隆雄
活動概要：珠洲市正院地区の配水池から仮設住宅までの約1,300mにおける漏水箇所の配管修繕と洗管作業					

第2班

	総括責任者	現場監督員		漏水調査員	
活動期間	施設課	給排水課		施設課	上水道整備課
4/8	秋元 晋	石村 卓也		大宮 幸太	小山 貴仙
～	現場責任者	配管工		トラック運転手	作業車運転手
4/16	赤平設備工業㈱	赤平設備工業㈱	赤平設備工業㈱	赤平設備工業㈱	赤平設備工業㈱
	小田桐 崇	柿崎 明浩	棟方 進也	小笠原 幸博	柿崎 隆一
活動概要：珠洲市正院地区の約800mにおける漏水箇所の配管修繕、仮設水管橋の設置					